

各ゾーンにおいて、「健康・医療」の要素を散りばめた事業を展開



相互に協力・連携・支援することで、まち全体として、相乗的な付加価値が向上
JR東海道本線沿線で、総計約30haの大規模開発プロジェクト

健都イノベーションパーク

健康・医療関係の企業・大学・研究機関等の進出用地
【4.0ha】 ※摂津市所有地含む

健都2街区高齢者向け ウェルネス住宅

国循・市民病院と連携した、医療系・介護系事業と一体となった複合居住施設 【0.4ha】

(仮称) 健康増進公園

国循・市民病院の協力・監修を受け、市民自らが手軽に健康づくり・予防医療を実践できる公園 【2.6ha】

健都
イノベーション
パーク

市境界線

至 大阪・神戸

健康増進公園

高齢者向けウェ
ルネス住宅

市立吹田
市民病院

駅前
複合
施設

国立循環器病
研究センター

都市型居住
ゾーン

至 京都

JR岸辺駅

JR東海道線(京都線)

都市型居住ゾーン

(仮称) 健都ライブラリー

市民の健康づくりを支援する拠点として、図書館を更に多機能化し、パーク施設の機能と融合した施設 【0.2ha】

1. 目的

～「健都」からイノベーションを創出～

「健康と医療」をキーワードに、先端的な研究開発を行う企業等の研究施設を集積させ、国循を中心とする複合医療産業拠点の形成を図る。

2. 事業用地の概要等

- 【全体面積】 約40,000m²
- 【想定敷地規模】 概ね1,500m²～5,000m²
- 【土地利用方法】 売却を主軸に土地利用



3. 施設内容

複合医療産業拠点の形成に寄与し、国循と連携する医薬品、医療機器、再生医療等製品、健康関連分野における製品・サービス等の研究所又は研究機能を併せ持つ施設

4. 事業者決定の方法・時期

- 【決定方法】 公募
- 【募集時期】 本年8月

【特徴】 国立循環器病研究センター等の協力・監修を受けながら市民自ら予防医療を実践できる場であることをプラットフォームに据え、
①主体的な健康づくりの促進 ②個人・グループでの健康づくりの促進
③年間を通じて運動イベントなどの開催 ④複数のウォーキングコースの配置 **を特徴とする。**

【コンセプト】 自然に健康を「意識」する公園、「**楽しみ**」ながら健康になれる公園、健康のコツが「**学べる**」公園

「健康・医療」をキーワードに多世代が集い、交流できる公園

健康運動ゾーン

【概要】

身近な緑とふれあえる空間で、市民自らが予防医療や健康づくりを実践するゾーン

【主な施設】

- ・ メディカルウォーキングコース
公園のシンボルとして、国立循環器病研究センター等の医学的根拠に基づくウォーキングコースを複数設定。
- ・ メディカル広場
開放感のある多目的広場
多種多様な健康遊具等の設置

健康交流ゾーン

【概要】

生きがいを見つけ、楽しみながら健康を維持し、交流を促進するゾーン

【主な施設】

- ・ 交流広場
様々なイベントを開催し、多様な人がふれあえる交流広場
- ・ コミュニティ育苗場
食や農のきっかけづくり

健康学びゾーン

【概要】

多世代が、健康づくりを通してふれあい、楽しみながら学びとにぎわいを創出するゾーン

【主な施設】

- ・ アスレチック遊具
子どもの体力づくり
- ・ (仮称) 健都ライブラリー
健康・スポーツ等の図書館、健康カフェ、オープンデッキ、多目的室、ヘルスチェックコーナー、屋内運動エリア

整備後の展開

整備後、医療関係者との連携による運動プログラム及び健康イベント等の開催等、効率的で効果的な施設運営や質の高い管理を継続的に行うため、**パーク施設や健康増進広場を含む公園全体の一体的な運営・管理は、指定管理者制度の導入を目指す。**

概要

(仮称) 健都ライブラリーは、

- ① 健康増進公園における積極的かつ継続的な健康づくりを支援する拠点、
- ② 多世代が身近に利用でき、図書館機能を更に多機能化させた施設、
として整備。

(仮称)健都ライブラリーの基本コンセプト

健康に、①気づき ②楽しみ ③学べる
の3つの柱による
多世代が集い、交流し、
健康寿命延伸(生涯活躍)につながる場

導入機能

- ✓ 公園での気づきや学びをサポートする **図書館(健康・スポーツ関連の蔵書が充実)**
- ✓ 栄養バランスや素材等にこだわった **健康カフェ**
- ✓ 季節や天候を気にせず **健康づくりができる多目的ルーム**
- ✓ 多世代が交流し、**健康講座も開催できる会議室** 等



趣旨・概要

健都のまちづくりの動きを踏まえ、更に加速化させるべく、今後、緑のふれあい交流創生ゾーン2(東側約4,000m²)において、高齢者向けウェルネス住宅を整備。

基本的な考え方・特徴

- 当該住宅に居住する全ての人が、できる限り健康の保持・増進に努め、生きがいを持ち、自分らしく、安心安全で豊かな生活を送ることができるという基本的な考え方をプラットフォームに据え、3つの特徴を持つ住宅環境のモデルケースとして、その整備を目指す。

特徴①：生活習慣病予防や介護予防を特に意識したウェルネス機能

- 自立層から要介護者まで、様々なライフスタイル・状態像の者が、健やかに安心して暮らせる住宅環境の整備を行う。
- 住宅機能については、国立循環器病研究センター等の医学的知見等を得ながら、
 - ・ 生活習慣病予防、介護予防の観点を重視した建物内施設・設備の導入を推進するとともに、
 - ・ 様々なサービス提供や支援を組み合わせることによって、より効果的に日常生活の中で健康寿命の延伸の実践等を図ることができる環境の形成を目指す。

特徴②：地域包括ケアシステム機能(医療・介護の連携した提供等)

- 多様なサービス事業所を配置し、当該住宅の居住者(※1)に対し、通い・訪問・泊まりといった様々なサービス形態により、介護を中心に看護や予防、薬剤管理といった様々なサービスを、オーダーメイドで組み合わせる等、居住者の自立を支援し、社会参加につながるようなサービスの提供(※2)を目指す。
- (※1) 事業所によるサービス提供は、当該住宅のみならず、周辺地域に対しても積極的に行い、地域のサービス拠点となるものとする。
- (※2) 住宅の見守り機能や、事業所を中心としたサービス提供により、独居や認知症にも対応することを目指す。

特徴③：北大阪健康医療都市内外の関係機関等との連携による付加価値機能

- 国立循環器病研究センターをはじめとする北大阪健康医療都市の各事業主体との円滑な連携を模索し、健都2街区高齢者向けウェルネス住宅はもとより、まち全体の付加価値を高める機能の導入を目指す。